

【知事からの説明】

新田知事より 資料（別添）により富山県成長戦略会議「中間とりまとめ」について説明

【グループワークの発表（①～④グループ）】

①僕らのグループでは11個アイデアが出たのですが

- ・上市川を水風呂でつかえるサウナ
- ・リアルおおかみこどもの人的な人の関わりづくり
- ・ふるさと学習の充実

の三つになりました。

上市川は今サウナ館というものがあるので、そのサウナ館で上市川を使って外で入れる水風呂を作ってもらうことによって、健康にもつながる。

リアル狼子供似的な人の関わり作りこれは分かりにくいかもしれませんが、おおかみこどもの雨と雪にでてくるような人の関わり。地方から来た人たちを受け入れる関わりを作る。

ふるさと学習これは子供たちだけではなく、地域全体として自分たちの故郷を学べる機会を提供していこうということです。

知事: 水風呂のアイデアはぜひ実現してください。町長ご興味があるのではないのでしょうか。おおかみこどもは既にブランドですから是非上市の人が発信することは大事だと思います。

町長: 私も水風呂気になりました。面白いアイデアだとは思いますが果たしてそれが可能なのかということとはまた勉強させてください。

② 最初のチームとは違って現実的な話に花が咲いたのですけれども、9つアイデアが上がりました。

- ・若い世代がチャレンジできる町
- ・富山県の楽しいところ良いところの発信
- ・上市のマイナス面を逆手に取った町づくり（高齢化、人口減少など）

私も去年起業しまして事業承継も兼ねているのですけれども会社を立ち上げる時に全然別会社なので銀行融資もすごく大変なですね。立ち上げた時に先行投資で費用も莫大なのでこの辺をもっとのびのびチャレンジできるいろんな夢をもって描けるような支援をしたいと思います。

富山県の楽しい所良い所の発信。いいところいい景色いい建物たくさんあるんですけれども訪れた方になるべく写真を撮って挙げていただいたりとかして内外に発信していただきたい。

上市町は高齢化も進んでいてマイナス面ばかり見るのではなくて、高齢者が多いことを逆にとった上市町のアピール点として例えば高齢者が来たくなるようなまちそういう施設を作ることによってそこに雇用が生まれたりとかでまた若い方がお勤めしてくださったりというところに着目するのの一つかなと思います。

知事: スタートアップを応援する環境作りはリアルな場所を作りたいと思います。そこにアドバイスする人たちも大切です。起業する時に最初にお金があるということも事実です。ここが一番ハードル

が高いかもしれませんが今スタートアップ協議会というものを作ってファイナンスのこと考えていかなければならないと思っています。

高齢者を集めるということも逆転の発想で面白いと思います。今の日本のマネーの半分以上は持っておられるという統計です。ですから高齢者に来てもらいそのマネーをチャレンジに還元するそんな循環の流れができればいいなと思いました。

町長:若い世代がチャレンジできる町ということでどういう点が足りないのかまたお知らせいただければと思います。積極的に検討させていただきます。

上市町の人口は2万人をわかりましたけれども、大体1年間にお亡くなりになる方が300人生まれてくる赤ちゃんが70人この高齢化の中でこの数値だけは非常に難しい。生まれてくるほうを何とかしたいなとは思いますが、高齢者が住みたくなる街ということもひとつの考えだということをおぼせていただきました。

③

・空き家活用 共同生活 一人暮らし世帯が多い

空き家の話があまり出てこなかったので空き家についてはかなり長い時間を要しました。一人暮らし世帯が多いのでシェアハウスではないですけども共同生活という意味で空き家を活用していく手段がないかと。そのためには空き家の整備リフォームも必要になってくると思いますが行政さんと協力しながら進めていけるものがあるのではないかと。

・白竜橋 風景 スポット化 インスタ映え

白竜橋でサウナという意見が出ましたので、サウナの横でインスタ映えをする写真スポット化はどうか。剣岳が一番きれいに見える白竜橋ぜひここを美しい風景としてみんなでPRしていきたい。

・幸せ教育

しあわせ教育という教育プログラムを小学生とか若い時代から介護とか福祉の部分を少しずつ勉強して行って、そういうものに対して抵抗感がないという意識改革・意識共有を上市の中で行なっていくのはどうか。

知事:空き家あるいは古民家を再生して様々な用途に活用するというこれはやっぱりとても大切なことなのです。壊すのは一番もったいないしコストがかかるのです。少し手を入れて活用するこの道を探るということもとても大切な取り組みだと思います。

それから介護人材を子供の頃から素晴らしさや必要性を教えるということも大切だと思いました。

町長:今ちょうど令和4年度のプロジェクト事業について具体的な政策を一つ一つ出してありますけれどもその中の一つのテーマが空き家です。これは人の財産に関わる問題で非常に難しいところでもあります。なんとかしないとイケない。空き家の利活用についても具体的に検討してまいりますのでご期待ください。

④まずは上市町にどんな魅力があるのかをあげながら、それに対してどういう風にして行けばいいのか意見を出し合いました。やっぱり上市の良さは食になるということで、地元の安全安心な地場産のものを子どもたちに給食等で食育。子供達だけではなくて老若男女全ての人に継続的にやっていくべき課題だと思います。

食べるだけでなく作るほうにも興味関心がいき就農のきっかけになるのではないかと。地元で働く場所があるということで移住のきっかけにもなるのではないかと意見が出ました。

続きまして上市の魅力は、健康であること。健康づくりのためには素晴らしい風景・水がありリラックスできる剣岳の景観があります。剣岳を見ながらコーヒーを飲むことが稲葉さん(参加者)の楽しみですけれども、観光に結びつける。

元気な高齢者の方が生きがい作りをする素晴らしい町かなと思っております。自分らしく働く暮らすためには若い世代なかなか戻りづらいとは思いますがそれぞれの生き方暮らし方を認め合い幸せに暮らすためには教育が大事という意見がありました。町民学園など実施しておりますがそれをさらに充実させていければと思います。

知事: やっと食が出ました。富山の幸せの基盤は水・自然・そして食だと思います。上市にもたくさんさんの食、個人的にはそうめんが思い浮かびますが。食は本当にアピールのポイントだと思います。どんどんこれを売っていきましょう。

町長: 何事においても人間から食というものを切り離してしまつたら、楽しみがないと思うんですね。一人一人のつながりが食で一番関わりが深くなる。

それと気になったのは健康です。高齢社会になっていますけれども寝たきりで100歳までいるよりも元気でコロッといつても私はいいと思うんですね。健康寿命を延ばさないとダメだと思います。私は毎朝1時間ウォーキングをしていますけれども、今から走ることはできませんので。持続可能な範囲での取り組みをしていきたいですね。

【振り返り】

改めて上市のことを考えたなと思ひますし、社業をずっとやっていると付き合う人や見る人たちが固まってしまうので、高齢者さんの方がお金をいっぱい持っているから来てもらつたら町におちるお金が多いですとかあんまり考えたことがなかつたので単純にそうだなと思ひました。全体的に話を見てみると教育・アクティビティ・福祉この3つがキーワードになってくるかなと思ひました。まちづくりの話をしているのですけれども自社にも落とし込めそうだししっかりと民間で事業化をしてなおかつ町にもプラスアルファになるような話を作って行けそうな感じだなと思ひて、モチベーションが上がつた1日だと思ひました。

上市のマイナス面を逆手に取る、高齢者を集める。これからおそらく学校設備も空いてくると思うので、暖房設備も厨房設備も揃つているので空き家対策とかそういうところに特化した町にしていくべきではと思つた。

私は仕事柄農業で作業をしておりますので80代90代のおじいちゃんおばあちゃんがすごく元気なのでこれは当たり前だと思ひていましたけれども、たくさん集まつて元気に生活できる場所があつてもいいのではないかと改めて思ひました。本来でしたら若い方が移住して農業に携わつていただきたいのですけれども年寄りのパワーがあるので年配の方が元気で生き生きと日々を送れる場所として私も微力ながら県のために美味しいものを作りたいと思ひました。

上市って 結構いろんないいところがあるんだなと思いました。うちのグループはアイデアがある方が矢継ぎ早にいらっしやっただけで聞いていてとても楽しかったです。直面している問題は様々なのですけれども、一つ一つ理解した上で進めていけたら素晴らしいなと思いました。

この会に参加させて頂いてすごくワクワクしています。今まで自分でこうあったらいいなと考えていたことも一人ではそんなに大きいこともできなくてどうやろうと思っていたのですけれども今日は同じ思いの方いましたし富山県上市町今まであんまり積極的にそこまで調べてなかったのかもしれないけれどもこういうことをしていたんだなと初めて分かって。これからは自分たちが積極的にコミュニティを作って仲間を探せるような場を作っていきたいなと感じる一日でした。

知事: しばらく前親戚が来るから案内したのですが、大岩山日石寺、あなたん行きたい。と言われてよくよく調べてみるとみんな上市だったんですね。色々な宝物がたくさんあるということまずみなさんがしっかりと認識をしていただいてその上で発信をしていただくこれがまず始まりだと思います。稲葉さんがおっしゃった剣岳を見ながらコーヒーを飲むこれは幸せだなというところにウェルビーイングの原点があるのではないかと思います。ポッチャの選手藤井友里子さんとお会いする機会がありました。彼女は10分間の中で私は幸せだと10回ぐらい言われたんですよ。パラリンピアンですから体はちょっと不自由がある、でも幸せだと10回も言われました。ここにもヒントがあるのではないかと思います。

私は先祖が残した畑や田んぼがあり父が創業した事業もあり、その後自分で人が集まる 場所を作りました。現在これだけ便利な食生活に恵まれています。食源病というワードを最近よく聞くようになったように 添加物や化学肥料などいろんな課題が様々ございます。それはなかなか表には出て参りません。例えば自分の作る 胡瓜や茄子野菜などから自分で納得のいく作り方で味わい子供達に後世に残し伝えていって、やがてはどうしたらみんなが100歳まで自分の足で歩いて生きられるか楽しい気持ちで剣岳を眺めて一生を終えられるか。というところに絞って行けたらいいなと思いました。皆さんのアイデアがとても刺激になりました。新田知事にお会いできてとても嬉しかったです。

たくさんの方が応募していて落ちこちるものだと思っていたのですが参加できるという話で楽しみにしてきました。皆さん素晴らしいアイデアばかりなのでじゃあこのアイデアがどんな風に関係各位専門家たちがキャッチしてどんな風に進めていくか非常に気になるところです。県庁のオープン化の話もありましたが専門家と市民の対話を どうしていけばいいかと切実に思いました。

【知事あいさつ】

知事: 一歩前に踏み出して集まってやろうと本当に熱のこもったグループワークができたと思います。私も色々気づかされたことがありましたし学ぶこともありました。これらをウェルビーイング先進県として 幸せ人口1000万これを実現するための戦略に色々と盛り込めることがあると思います。本当にありがとうございました。そしてこれがグラフィックレコーディングといういわゆる議事録を絵で書くという記述があります。字で書くよりもよりわかりやすいそんな風に最近よく使われるものです。これが今日の一つの成果だと思います。これを持ち帰らせていただきます。時間が足りないですよね全然。まだまだ消化不良の方もおられると思います。どうかこの後は皆さんで ご自由に活発に

って頂ければと思います。知事なんかいなくても皆さんで十分にお話が回るんだという風に思います。実は前回の立山町では引き続き立山町ビジョンセッションというものが行われています。上市町でもそんな動きに繋がっていくことが実はこのビジョンセッションの大きな目的の一つでもあります。今日はどうもありがとうございました。皆様の思いそして上市町を良くしたいという、富山を良くしたいという思い、ビシビシと伝わりました。これを成長戦略に折り込ませていただきたいと思います。